



審査結果報告書

2021年 1月 26日

主 査 氏 名 生地 新 

副 査 氏 名 村瀬 華子 

副 査 氏 名 石坂 郁代 

副 査 氏 名 深瀬 裕子 

1. 申請者氏名 : DM11016 城戸口親史

2. 論文テーマ :

看護師の失敗傾向と針刺し事故・血液暴露事故に関する研究

3. 論文審査結果 :

本論文は、医療機関に勤務する看護師の失敗傾向（ミスを起こしやすい傾向）と針刺し事故や血液暴露事故の経験、および針刺し事故・血液暴露事故防止についての知識や防止対策の実践度を質問紙で調査した研究の結果をまとめたものである。その結果、高失敗傾向群は、低失敗傾向群に比べて、防止対策の実践度が低く、針刺し事故や血液暴露事故の経験が多いことが示された。医療機関において、しばしば医療職が経験する事故の中で重要な位置を占める針刺し事故や血液暴露事故について、心理学的視点を取り入れて研究したとい点で意義のある研究と考えられる。この知見から、医療現場において看護職などの医療職者の一般的な失敗傾向を把握することが、医療機関における事故防止対策上役立つ可能性が示唆されたと考えられる。なお、この研究は、適正な研究倫理上の配慮のもとで実施されていると思われる。

申請者は、自分の研究の方法や結果についてわかりやすく説明し、審査委員の質問にも適切に回答した。研究の限界も理解しており、将来の研究の方向性についても展望を示した。

以上より、審査委員会は、本論文は、北里大学大学院医療系研究科博士課程の学位論文として認めることができる水準に達していると判断した。